

市民運動会 青空の下 楽しみましょう!

10月10日(日)は第36回芥見東市民運動会です。昨年同様、「競走」より皆で楽しみながら、現実の生活にも密着した「競技」を中心に企画しました。

—配布中のプログラムをご参照ください—

秋の一日、青空の下、皆さんで楽しみましょう。 □■



昨年の市民運動会から

国民体育大会 千葉から「ぎふ清流国体」へ

柏台支部・藤盛 洋樹さん

先日、今年開かれる千葉国体に向けての監督会議にソフトテニス少年女子監督として参加しました。

どの種目の監督も大会に臨む意気込みを力強く語っていました。2年後の秋に国体を迎える岐阜県として、ここで弾みをつけて「ぎふ清流国体」で天皇杯・

皇后杯上位入賞を実現させたい、という熱い想いがあります。

国体は4種別あり、少年男女の部は、現在の中学2年生から高校1年生の世代選手がターゲットエイジと名付けられ、数年前から競技力の強化が進められています。

無限の可能性を秘めた選手達が心を1つにして、地元国体で活躍し、県民の皆さんを勇気づけて

くれるものと信じて、まずは千葉国体へ乗り込んで行こうと思います。地域の皆さまもお力添えと声援をよろしくお願いします。 □■

研修会 防災への理解を深めました

—芥見東女性防火クラブ会長・向井 愛子さん

猛暑の続いていた9月3日、市消防本部で開催された「防災研修会」に汗だくで参加しました。

防災行政や住宅火災警報の説明を聞き、参加者も活発に質問しました。通信指令室を見学中、火災の119番通報が入り、職員の対応ぶりに緊張しました。➤

*「こうしては？」のご意見や話題・知恵・要望などを、

講演会 親子のあり方 父親から学ぶ

—芥見東公民館館長・上野 堅一さん

ザ・ドリフターズのリーダーで、ミュージシャンをはじめコメディアン、俳優として活躍したいかりや長介さん。彼は子どもの家庭教育をたいへん大事にしていたようです。実は、今回の公民館研修大会講演会の講師は長介さんの長男のいかりや浩一さんです。

長介さんは息子の浩一さんに、多くの人生哲学を教えてくれたそうです。それは、父親として、一家の家長として、また一人の男として、共に過ごした35年間に、その背中で教え、語り続けられたものでした。

少子化・核家族化が進む現代生活において、親子の絆の大切さなど家庭教育における課題が多くあります。いかりや流人生哲学で親子・家族関係を今一度考えてみてはいかがでしょうか？

日時 10月18日(月) 午後1時30分

場所 岐阜市民会館(入場無料) □■

敬老会 自分も「健康で長生き」を目標に

—桜台支部・KAさん

9月20日、桜台地区の敬老会が桜台公民館において高齢者48名の出席を迎え、盛大に開催されました。私も関係者の一人としてお招きにあずかり、喜びを分かち合わせていただきました。

まず気づいたのは、皆様が健康そのもので、顔色も良く足腰もしっかりした方たちばかりであったことです。

長寿社会にあって、私自身、「健康で長生き」を目標に置いて、地域の発展に貢献し、楽しく優雅な生活を過ごしてゆきたいと思っております。 □■



➤が、大事に至らなかったようでホッとしました。

地下に行くと、6階建て消防本部全体が地震に強い免震構造になっている仕組みが見えて、驚きました。

地震体験車にも乗り、改めて地震の怖さを感じました。防災への理解を深める有意義な一日でした。

各家庭でも、日頃から防災について話し合うことが大切だと感じた次第です。 □■

ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

配布

大洞

4-81

東山

3-53

38-364

コモン北

6-89

桜台

23-334

桜市

41-312

柏台

31-333

柏市

26-220

桐丘

23-199

桐市

6-46

紅葉

21-266

紅市

16-142

桜2P

1-23

計 239

/2462

夕暮れ時や夜間の交通事故故に注意しましょう!

歩行者は反射材の着用を

自転車利用者は早めにライトの点灯を

(芥見東交通安全協会)

一坪菜園 キュウリ 200本穫れました

—自治会連合会理事・榊原 正

庭先の畑にきゅうりを植えて5年。同じ場所での連作障害を避けるため、今年は直径70センチの丸柵で囲い、畑土を深さ50センチほど野菜培養土に入れ替えてみました。

4月下旬、寒かったので、苗(北進)を鉢で育てて、こどもの日に2本を畑に移植。NHKの「野菜の時間」を参考に、肥料は月に2回、中間に液体肥料を2回散布、晴れた日には水を約4リットル与えました。

5月下旬、最初の1本が穫れ、カレンダーに本数を書き込むのが楽しみでしたが、6月にはうどんこ病が発生し、病気に害虫に効く「サンヨール」を散布、アブラムシや虫の卵は水で散らし、病気で枯れた葉は切って、毎日健康チェックしました。

9月に入りさすが疲れ果てたのか花が段々小さくなり堀あげとなりました。きゅうり君、頑張ったね。お疲れ様でした。



100年に1度の猛暑にも負けず、めでたく200本を超えました。「丸柵の効果」があったのか、連作障害もクリアして、今年のきゅうり作りは、成功でした。□■

権現山 雄大な自然眺め運動不足も解消

—東山支部・K.Gさん

今年は、暑さで外に出る機会も減って運動不足を感じ、思い切って涼しい朝の時間帯に運動しようと、権現山への山登りを決行しました。

6時半にクリーンセンター側からのルートを選び、まずは老洞峠を目指しました。登り口まで行くのに上り坂の自然歩道を四苦八苦、登り口から一步踏み込むと初めての山登りで、想像を超える険しい道が続きます。



早朝とはいえ動けば汗が滝のように落ち、険しくなる道に足を取られつつ休み休み進みました。山並みの美しさを横目に、今日はここで止めようかと何度となく立ち止まりました。

頂上に近づくとつれ木々の背丈も短くなって太陽をまともに受けるようになり、暑さは限界に。あと少しで頂上まで行けるのでは、と感じましたが、体力も限界だと思い断念しました。

でも、そこでの景色は見馴れた地上の風景とは違い、雄大な自然のありがたさを感じさせるものでした。□■

みどりっこバス 看護実習で乗ってみて

その1 一岐阜県立衛生専門学校生・小島 誉宗子さん

9月上旬、看護実習でこちらの町に来ました。私の住んでいる所とは違い、山が近くにあり、坂道が多く、高齢者の方はこのような急な坂を上り下りして、本当に大変だろうな、と思いました。

けれども、コミュニティバスが走っていると聞き、実際に乗ってみて、地域の方がバスを利用し買い物に行ったり、病院に行ったりと、楽に外出できるように工夫がされているんだと知り、とても感銘を受けました。

高齢者が外出しやすくなっただけでなく、車内では皆さんが楽しく会話している姿が見られたりと、このバスは高齢者の楽しみ、つながりを作り、そして多くの情報交換ができる場になっているとも思いました。

また、車内では席を譲りあったり、多くの優しさが見られ、温かい絆が感じられました。(羽島市在住)

その2 一岐阜県立衛生専門学校生・井出 未華さん

実習の時にバスに乗せてもらいました。たくさんの方が利用されて、いろんなお話をしたり、笑顔が見られ、路線バスとは違って、楽しい雰囲気です。外に出るののだと思いました。

坂が多く、なかなか1人では外出しづらい方も、このバスのおかげで行きたい所の近くまで行くことができ、気軽に出かけられるようになったのではないかと思います。また席をゆずりあったり、自分だけでなく相手のことも考えている方が多く、あたたかい地域だと感じ、私も見習っていきたくと思いました。

地域の皆さんから愛されるバスとしてこれからも頑張ってください。また乗る機会があれば、ぜひ利用したいと思います。(大垣市在住)



大洞作品展 地区の結束力がここにも

大洞支部では、敬老会に華を添えようと9月19・20日、大洞公民館で恒例の作品展が催されました。

大人から子どもまで素晴らしい作品がたくさん飾られて、この地区の結束力があらためて感じられました。□■



十月一日から「赤い羽根共同募金」が始まります。私たちが善意が障がい者、子ども、高齢者などの福祉施設に元実などに生かされます。ご協力お願いします。